

仲間がいる、興味が広がる、さらに地域へ！

～生涯学習で広がる世界～

生涯学習は子どもから高齢者まですべての人が、自分の好きなことや必要なことを生涯にわたって学んでいくことです。「余暇を充実させたい」「日常生活での悩みを解決したい」など、学習を始める動機は人それぞれですが、学びを深めていくなかで、興味や仲間がさらに広がり、地域での様々な活動へつながっていくことがあります。

ここでは、町田市が主催する講座を受けたことをきっかけに、仲間と出会い、活動の幅を広げてきた方々をご紹介します！

まちだ市民大学HATS修了者に聞く「まちだ史考会」の活動

生涯学習センターが開講する「まちだ市民大学HATS」は、市民一人ひとりが地域づくりや文化創造に主体的に参加できるよう実施している講座です。郷土史、福祉、環境などのコースがあり、年間受講者は700人を超えます。これまで、講座修了後に多くの自主学習グループが立ち上がり、現在45団体が活動しています。

「まちだ史考会」会長にお話をうかがいました。

—まちだ史考会について教えてください。

1994年に郷土史講座の修了者有志34名で活動をスタートし、現在会員数は約260名です。主な活動は市内の遺跡や社寺を巡る歴史散歩、文化財調査活動や講演会です。また、ボランティア活動もしています。

—どんなボランティアをされているんですか？

学童保育クラブへ行ったり、子ども向けのイベントに参加をしたりして、昔の遊びを教えています。先日は弓矢を教えに行きました。弓矢の仕組みを理解し、上手にできるようになると、面白くなってくるようで、子どもたちは繰り返しやっていました。昔遊びを通して歴史に触れることは、



まちだ史考会
森山定雄会長

子どもたちにとってよいことだと思います。

—史考会の活動に参加してよかったことは？

定年後、地元を見直そうと思い、市民大学で郷土史を学びこの会に入会したのですが、より一層町田に愛着がわきました。「一人前の町田市民」になった気持ちです。自分たちの活動が少しでも地域に役立てば、とても嬉しいです。



年5回ほど歴史散歩を行っています。(写真は大蔵山安全寺を訪れた際の様子)



ボランティア活動として、子どもたちへ、お手玉作りや弓矢など昔の遊びを教えています。

語り手養成講座修了者に聞く「おはなし会ボランティア」の活動

図書館では、子どもと本の仲立ちのために、おはなし会を行っています。おはなし会「語り手」養成講座も実施し、修了者が、おはなしの楽しさを伝えるために市内の各図書館で活躍しています。中には、その後グループを結成し、図書館以外にも活動の場を広げている方々があります。

おはなしはすの実



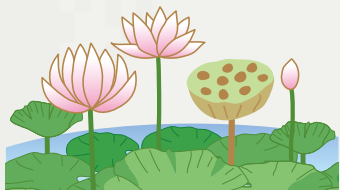
1998年度修了者のグループ「おはなしはすの実」は、老人ホームでもおはなし会を行っています。

—老人ホームでおはなし会を始めたきっかけは？

メンバーの1人が、知り合いの老人ホームの職員から頼まれたのがきっかけで、年に5、6回訪問しています。

—ホームのみなさんの反応はいかがですか？

昔話を語ることが多いのですが、お話を耳から聞くことは楽しいようで、大変喜んでくださいます。訪問すると、皆さん「楽しみにしてたよ!」と言ってくださるので、やりがいがあります。



老人ホームでのおはなし会

おはなし如雨露



「おはなし如雨露」は、子どもクラブの他、4つの保育園でおはなし会を行っています。

—子どもクラブや保育園でおはなし会を始めたきっかけは？

メンバーの知り合いがいた保育園から声がかかり、その縁で活動の場が広がりました。就学前の子どもたちに、たくさんのおはなしに巡りあって欲しいと願い、活動しています。

—おはなし会活動をしていて、嬉しかったことは？

子どもたちがおはなしを、とても楽しんでくれることです。別の場所でのおはなし会を告知すると、そこに来てくれる子どももいて、それも嬉しいです。



子どもクラブでのおはなし会

町田市では市民のみなさんが生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支えあうことができる社会を目指し、生涯学習センターで学習相談を行っているほか、様々な講座や講演会、イベント等を年間を通じて開催しています。

市民のみなさんが参加できる講座やイベント等の情報は、町田市ホームページのほか、市内の公共施設で配布している情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」に掲載しています。「新しいことを始めたい!」「近くでイベントはないかな?」と思ったら、ぜひご覧ください。

みなさんからのご相談、ご参加をお待ちしています！

問い合わせ

- 市民大学HATS・学習相談について ……生涯学習センター (☎728・0071)
- 語り手養成講座・おはなし会について…中央図書館 (☎728・8220)

生涯学習センター
キャラクター
マナブとマニャミン



町田市立図書館
マスコットキャラクター
よむぼん



リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、128,000部作成し、1部あたりの単価は4円です。(職員人件費を含みます。)